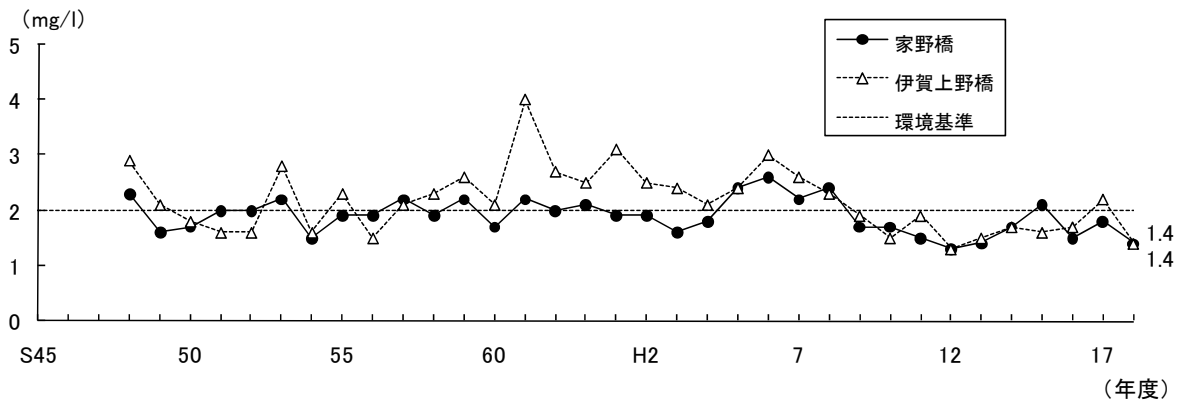


(2) 木津川上流の河川

大和高原北部の山間部を流下して木津川に至る上流河川は、アユの養殖などの内水面漁業に利用されているように比較的良好な水質であるが、一時期は悪化の傾向が見られたものの、平成9年度以降改善傾向にある。

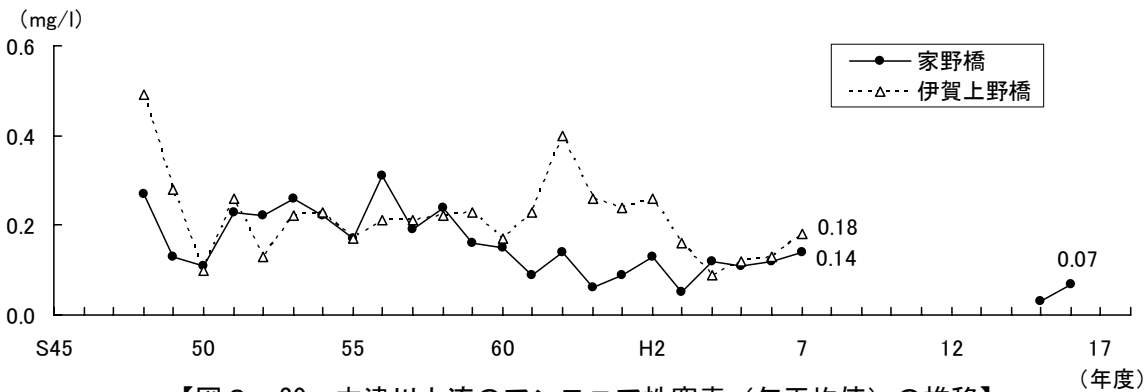
家野橋でのBOD（75%値）は平成3年度以降増加傾向を示していたが、平成9年度からは減少し、平成18年度は1.4mg/lと改善されている。伊賀上野橋では平成5年度以降減少傾向にあり、平成18年度は年平均値は1.4mg/lとなっている。いずれの地点でも環境基準値（2.0mg/l）を下回っている。

アンモニア性窒素は伊賀上野橋では昭和62年に0.40mg/lであったが、その後急速に改善され、平成7年度は0.18mg/lとなっている。家野橋では、昭和60年度以降0.03～0.15mg/lの範囲で横ばいで推移しており、平成16年度は0.07mg/lとなった。



【図3-19 木津川上流のBOD（75%値）の推移】

三重県環境白書より作成
詳細は資料3-10を参照



【図3-20 木津川上流のアンモニア性窒素（年平均値）の推移】

三重県「公共用水域及び地下水の水質測定結果」より作成
詳細は資料3-11を参照